

特集

# 令和元年度 7つの取り組み ～埼玉県国際交流協会事業報告～

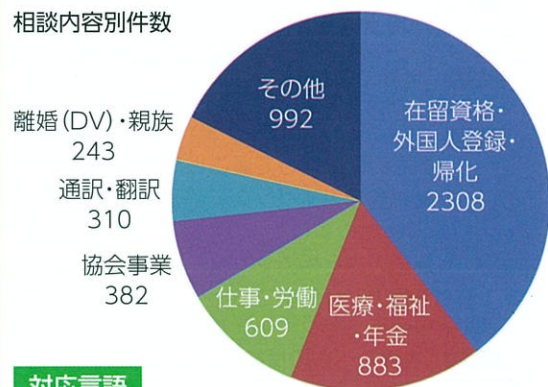


## 取り組み① 多言語で在住外国人の生活相談を実施しました

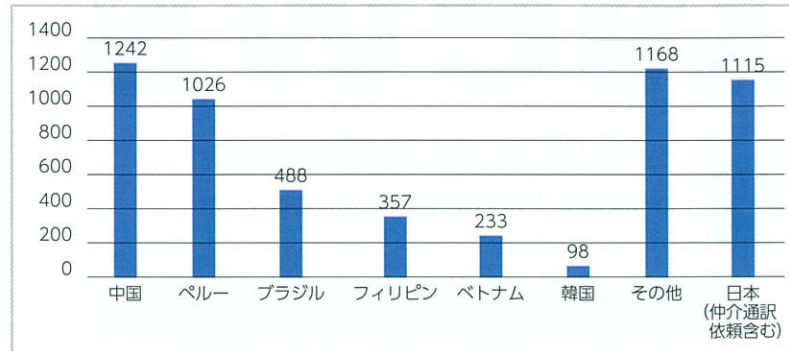
埼玉県に住む全ての方が、国籍や文化を超えて活躍できるよう、生活全般の相談や公共機関窓口との仲介通訳、また、出入国制度や労働問題などに関する専門的な相談を多言語により、ワンストップで対応しました。

○外国人総合相談センター埼玉 相談件数：**5,727件** (うち仲介通訳：**784件**)

相談内容別件数



国籍別件数(上位6か国)



対応言語

11言語 英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、韓国・朝鮮語、インドネシア語、ネパール語とやさしい日本語

相談件数全体のうち

○専門相談の件数：**1,384件** (内訳 入国管理：1,348件、労働：7件、法律：21件、福祉：8件)

※2019年度より専門相談に福祉相談が加わりました。

## 取り組み② 通訳・翻訳ボランティアを紹介しました

公的機関からの依頼に対し、登録いただいている通訳・翻訳ボランティアを紹介しました。

○紹介件数：**154件** (紹介人数：164人)

(内訳 法律相談：84件、医療・福祉：34件、学校・教育：13件、国際交流・イベント：11件、行政：12件)

○通訳・翻訳ボランティア登録者数：**1,071人** (30言語)

## 取り組み③ 「日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス」を開催しました

日本語を母語としない子供たちにとって、高校に進学できるかどうかはその後の人生を左右する大きなターニングポイントとなります。ガイダンスでは、高校進学に関する資料を**6か国語(日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語)**で作成し、配布しました。

○参加者：**129人** 県内では、ボランティア有志の主催で他**6会場**でも同様のガイダンスが実施されました。

## 取り組み④ 彩の国さいたま国際協力基金助成事業

埼玉県内に活動の拠点を置く民間団体が行う国際協力事業**10事業**に対し、**3,118千円**の助成を行いました。

|        | 助成団体数 | 助成事業数 | 助成額     |
|--------|-------|-------|---------|
| 海外協力事業 | 7団体   | 7事業   | 2,795千円 |
| 県内協力事業 | 3団体   | 3事業   | 323千円   |
| 合計     | 10団体  | 10事業  | 3,118千円 |



バングラデシュの水供給困難地域(地下水のヒ素汚染地域)において、安全な水供給の実現のため、住民への給水施設維持管理の技術支援や環境教育を行い、住民自ら井戸の定期的な管理を行えるようになりました。

## 取り組み⑤ ホームステイボランティア(ホストファミリー)の登録・紹介をしました

ホームステイボランティアを行う家庭を募集・登録し、グローバル人材育成センター埼玉(GGS)の会員大学の外国人留学生、県観光課が招致した台湾からの高校生に対して、ホストファミリーを紹介しました。また、(独)国際交流基金日本語国際センターの研修参加者について、市町村に登録されているホストファミリーを紹介しました。



○留学生・研修参加者 ホームステイ受入人数 **123人**

(内訳 GGS会員大学の留学生:73人、研修参加者:9人、サマープログラム参加学生:5人、台湾高校生:36人)

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の本番に向け、埼玉県版ホームステイ事業の周知のため、海外メディア・各国大使館関係者等を対象に登録ホスト宅でのホームステイも実施しました。

○実施回数：**7回** ○ゲスト人数：**111人** ○受入ホスト数：**78家庭**

### 参加者の声

ホスト

- ・留学生の母国のことをたくさん知り、身近に感じるようになった。
- ・母国に数年帰省していない留学生だったので、家族の雰囲気を感じたと喜んでくれた。
- ・子供たちと楽しく遊んでくれ、子供たちがとても喜んでいました。

ゲスト

- ・初めての体験(温泉、布団、こたつなど)ができた!
- ・第2の家族ができたようだった。
- ・ホストと一緒に過ごせて楽しく、他の人にも勧めたい。

## 取り組み⑥ 国際理解教育を支援しました

学校や地域での国際理解教育を支援するため、授業等に外国人や青年海外協力隊員等を講師として派遣しています。昨年度はラグビーワールドカップ日本大会の開催があり、さらには東京2020オリンピック・パラリンピック大会に向け、ホストタウンや事前キャンプ地など大会に関連する国についての講座依頼が多くありました。

○登録講師数：**106人** (34の国・地域)

延べ**208人**の講師が教育現場で国際理解教育を支援しました。派遣先は小学校15件、中学校25件、高等学校6件、その他24件の合計**70件**で、**参加人数は7,758人**です。



### 参加者の声

- ・「グローバルな人」というのは英語が話せる人ではなく、世界のひととの関わりが上手にできる人ということに忘れずにいたい。
- ・日本の当たり前が世界の当たり前でないことに気づいた。
- ・他民族国家の講師の「みんな一緒、心は一つ」という言葉に感動した。みんな違うのが当たり前という国全体の考え方が素敵だと思いました。

国際フェア2019の会場でも、国際理解ワークショップを開催しました。

○NGO**8団体**が実施し、**162人**参加しました。



## 取り組み⑦ 国際的に活躍できる人材を育成しました

「グローバル人材育成センター埼玉」では、海外留学を経験した日本人学生と外国人留学生の両者を対象に、留学前から留学後の県内企業への就職までトータルに支援しています。

●「埼玉発世界行き」奨学金の支給：**3コース、88人** (応募者数：242人)

●「埼玉発世界行き」冠奨学金の支給：**23コース、57人** (応募者数：308人)

●無料職業紹介

○学生登録数：**428人**、求人登録：**962人** ○県内企業への内定：**73社、100件**

○マッチング件数：**56社、1,432人**(うち内定**12社、30人**)

